Three decorative squares of varying sizes and shades of light blue and white, arranged in a small cluster to the left of the main title.

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月12日

ジーエルサイエンス株式会社

(スタンダード：7705)

総括

売上高 営業利益 当期純利益：過去最高額を更新

分析機器事業

- ・ 売上高・営業利益ともに過去最高額を更新
- ・ 国内および海外、装置および消耗品別においても増収増益

半導体事業

- ・ 生産能力を最大限拡大し、売上高・営業利益ともに過去最高額を更新
- ・ 受注残も過去最高額を更新

自動認識事業

- ・ 増収減益
- ・ 電子部品不足への対応で市場品調達が増加し利益を圧迫

目次

1. 連結決算の概要 (2023年3月期)
2. 次期業績見通し (2024年3月期)
3. 参考資料

1. 連結決算の概要

決算実績

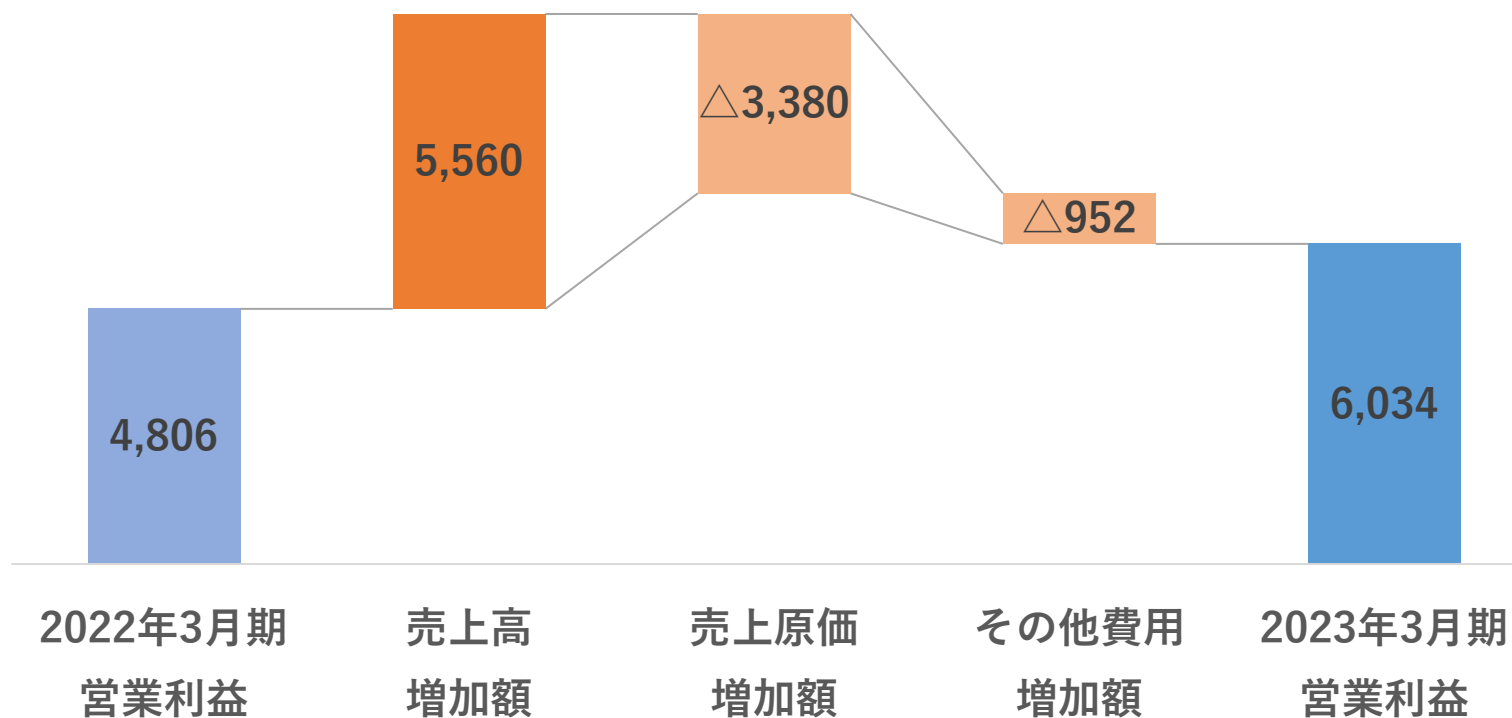
売上高 営業利益 親会社に帰属する当期純利益 創業以来過去最高を更新 (単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
売上高	33,119	38,679	16.8%	5,560
営業利益	4,806	6,034	25.5%	1,227
営業利益率	14.5%	15.6%	—	1.1pt
経常利益	4,998	6,468	29.4%	1,470
親会社株主に帰属する当期純利益	2,795	3,499	25.2%	703
1株当たり当期純利益 (EPS)	272.45円	341.05円	—	68.60円

営業利益増減要因

半導体事業の牽引により売上高・営業利益ともに増加
営業利益は前年比25.5%増加の6,034百万円

(単位：百万円)



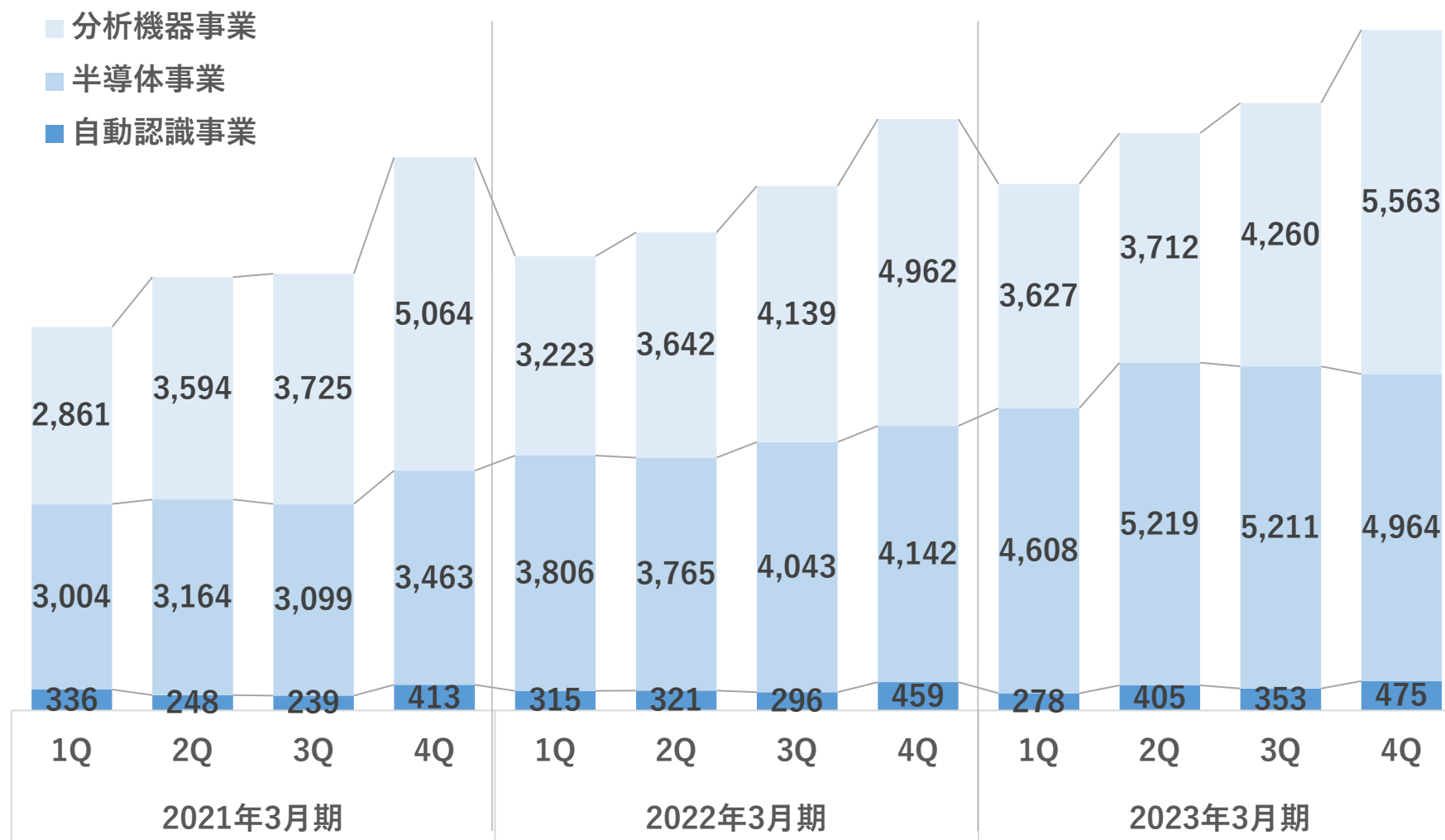
セグメント別 決算実績

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
分析機器事業	売上高	15,968	17,163	7.5%	1,194
	営業利益	1,555	1,888	21.4%	332
半導体事業	売上高	15,758	20,003	26.9%	4,245
	営業利益	3,161	4,068	28.7%	907
自動認識事業	売上高	1,393	1,513	8.6%	120
	営業利益	80	67	△16.3%	△13
合計	売上高	33,119	38,679	16.8%	5,560
	営業利益	4,806	6,034	25.5%	1,227

売上高 連結決算実績 セグメント別

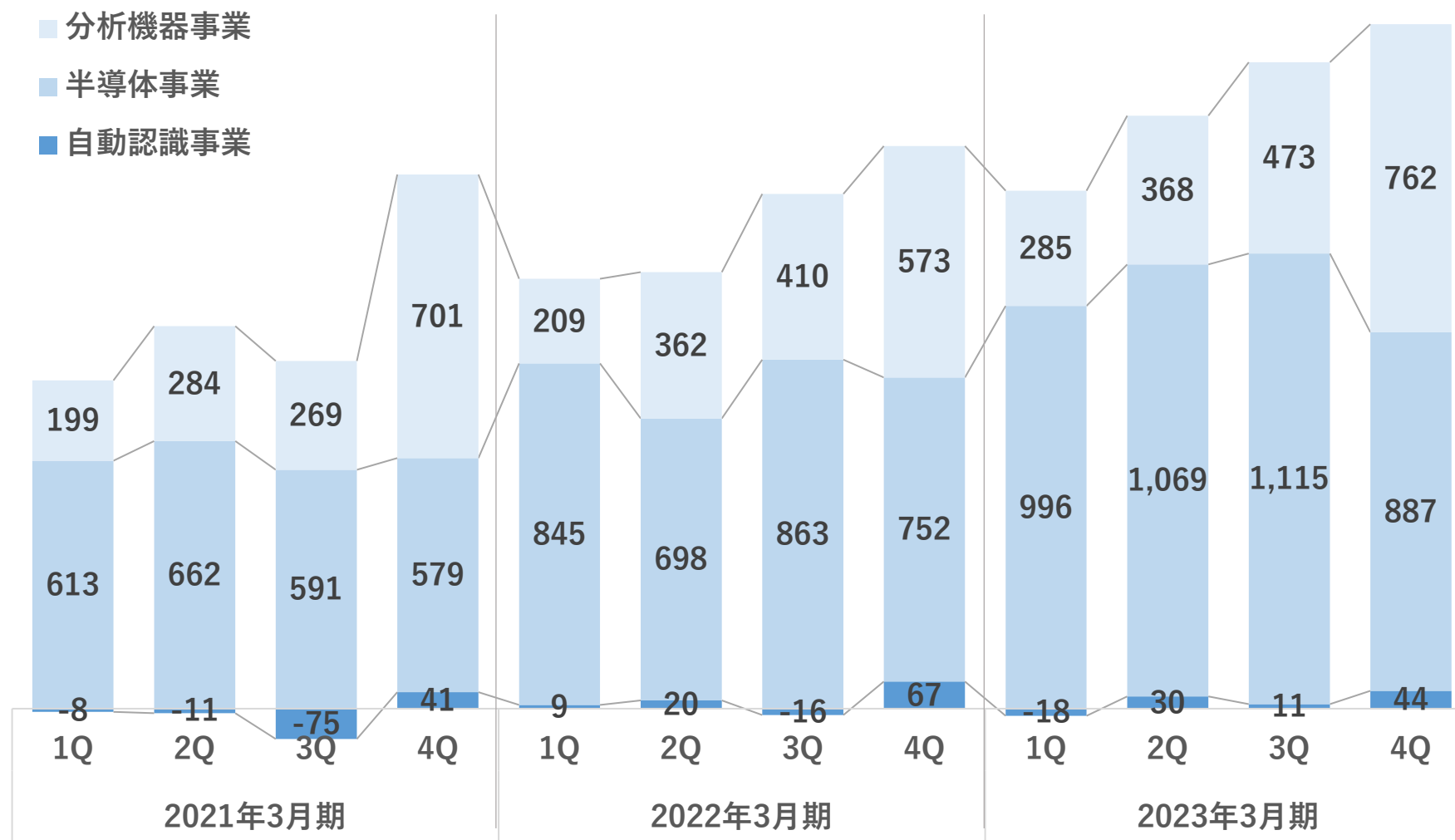
(単位：百万円)



※ 2022年3月期、2023年3月期に係る各数値については、「収益認識に関する会計基準」を適用した後の数値となっております。

営業利益 連結決算実績 セグメント別

(単位：百万円)



セグメント概要



44.4% 分析機器事業



51.7% 半導体事業



3.9% 自動認識事業

分析機器事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
売上高	15,968	17,163	7.5%	1,194
営業利益	1,555	1,888	21.4%	332
営業利益率	9.7%	11.0%	—	1.3pt

製品ラインアップ



LC充填カラム



GCキャピラリーカラム



固相抽出カラム



ガスクロマトグラフ



水質測定装置



試料前処理装置

◇2023年3月期 実績に対して

- ・ 装置及び消耗品ともに増収
- ・ 化学、大学官公庁、製薬、食品、環境などすべての分野で好調
- ・ 半導体や部材供給不足の影響を最小限に抑制

◇2023年3月期 トピックス

好調の要因

- ・ 消耗品：試料調製関連のまとめ買い
ガスクロマトグラフ関連製品、無機関連製品
- ・ 装置：システム製品など
- ・ 地域：国内及びアジア
- ・ 分野：次世代エネルギー及びカーボンニュートラル

分析機器事業 地域別売上高

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額	構成比
日本	12,519	13,224	5.6%	704	77.1%
北米	385	434	12.9%	49	2.5%
アジア	2,236	2,572	15.0%	336	15.0%
その他	826	931	12.6%	104	5.4%
合計	15,968	17,163	7.5%	1,194	100.0%

日本

消耗品

化学、製薬、食品、環境など、ほぼすべての分野で好調

装置

次世代エネルギー・カーボンニュートラル分野で特注装置、ガスクロマトグラフ関連製品、及び他社装置が好調

北米

北米

Eコマースの導入や中米へのアプローチにより好調

アジア

中国

ゼロコロナ政策の影響を受けたが好調

インド

市場の成長に伴い業績好調

ASEAN

コロナ収束に伴い好調

その他

欧州

地政学的影響を受けたが通年では前年並み

中南米

LCカラム販売が好調

中近東

LCカラム販売が好調

半導体事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
売上高	15,758	20,003	26.9%	4,245
営業利益	3,161	4,068	28.7%	907
営業利益率	20.1%	20.3%	—	0.2pt





健康優良企業
 健銀第2431号

◇2023年3月期 計画に対して

- 2022年10月31日発表
修正売上高20,000百万円に対して達成率100.0%
修正営業利益4,290百万円に対して達成率94.8%
- 売上高、営業利益は過去最高を更新

◇2023年3月期 トピックス

- 株式分割の実施（普通株式1株につき5株の割合）
- アイシンテック完全子会社化(2022年7月)
- 健康経営の推進により健康保険組合連合会東京連合会から「健康優良企業」の認定を取得
- 山形市ふるさと納税寄付の継続（寄付金額1,000万円）

半導体事業 地域別売上高

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額	構成比
日本	7,440	9,895	33.0%	2,455	49.5%
北米	780	792	1.5%	12	4.0%
アジア	7,521	9,306	23.7%	1,784	46.5%
その他	15	8	△46.2%	△7	0.0%
合計	15,758	20,003	26.9%	4,245	100.0%

半導体事業 受注残の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
受注残高	5,987	7,169	19.7%	1,181

◇2023年3月期 トピックス

- ・ 過去最高の受注残を更新



自動認識事業 実績

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比(%)	増減額
売上高	1,393	1,513	8.6%	120
営業利益	80	67	△16.3%	△13
営業利益率	5.8%	4.5%	—	△1.3pt

製品ラインアップ



立駐機傾きセンサ



防護ネット管理

カギ番人smart

アプリでカギを取り出すスマートキーボックス



カギ番人Smart

◇2023年3月期 実績に対して

- ・ 増収減益
電子部品不足への対応で市場品調達が増加し利益を圧迫

◇2023年3月期 トピックス

- ・ 機械式駐車場/パレット傾きセンサ
試作開発の契約受託と量産試作が決定
- ・ 建設仮設資材リース品/防護ネットのRFID管理
当社参画スキームにて業選完了。RFIDハードを担当
- ・ Keiden/カギ番人Smart
共同開発完了し販売開始 各種メディアにも掲載

2. 次期業績見通し

業績見通し

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期(計画)	増減比 (%)	増減額
売上高	38,679	38,240	△1.1%	△439
営業利益	6,034	5,650	△6.4%	△384
営業利益率	15.6%	14.8%	—	△0.8pt
経常利益	6,468	5,710	△11.7%	△758
親会社株主に帰属する当期純利益	3,499	3,150	△10.0%	△349

セグメント別 業績見通し

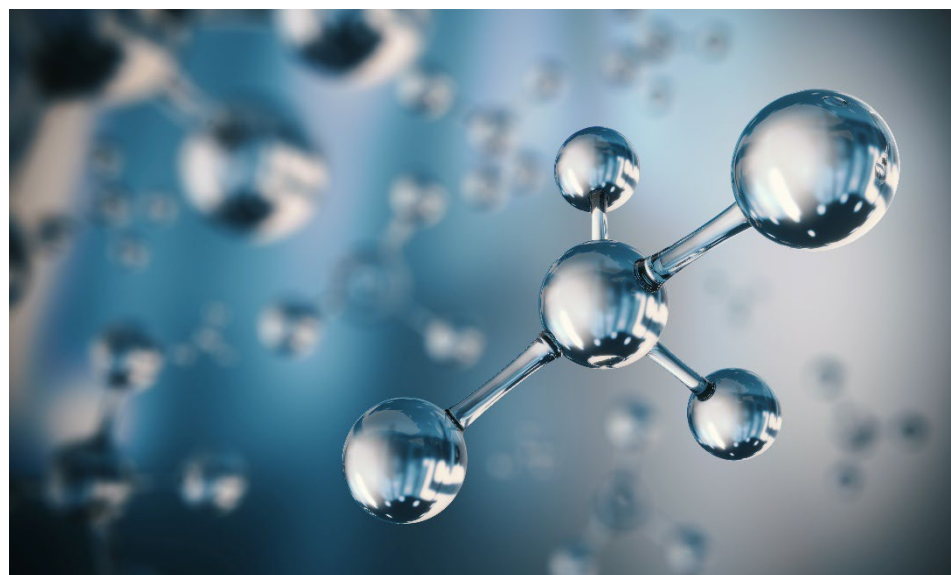
(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 (計画)	増減比(%)	増減額
分析機器事業				
売上高	17,163	17,530	2.1%	366
営業利益	1,888	1,880	△0.5%	△8
半導体事業				
売上高	20,003	18,930	△5.4%	△1,073
営業利益	4,068	3,660	△10.0%	△408
自動認識事業				
売上高	1,513	1,780	17.6%	266
営業利益	67	110	62.3%	42

分析機器事業 見通し

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期(計画)	増減比(%)	増減額
売上高	17,163	17,530	2.1%	366
営業利益	1,888	1,880	△0.5%	△8
営業利益率	11.0%	10.7%	—	△0.3pt



◇分析機器事業 今後の見通し

- ・ 製造技術開発の推進による品質の安定化、効率化、コスト削減
- ・ 販売力の更なる拡大を目指し、海外現地企業とのパートナーシップ管理強化並びに新規開拓
- ・ 中国・米国における現地法人を中心とした新たな商材と販売網の確立
- ・ M&Aや業務提携、新規事業の探査など持続的成長の為の戦略的投資の継続
- ・ 部材の調達不安、原材料の高騰にともなう調達、納期およびコストに対するリスクマネジメント

半導体事業 見通し

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期(計画)	増減比(%)	増減額
売上高	20,003	18,930	△5.4%	△1,073
営業利益	4,068	3,660	△10.0%	△408
営業利益率	20.3%	19.3%	—	△1.0pt



アイシンテック
喜多方工場

蔵王南工場の隣接地
(新工場建設予定地)



◇半導体事業 今後の見通し

- 半導体業界は、2023年度”前半”は非常に厳しいマーケット環境と見込む
- 2023年度”後半”は徐々に回復し、中長期的には半導体需要の拡大トレンドは継続していくものと予想
- アメリカの対中国輸出規制について、今後の動向を注視しつつ柔軟に対応
- 2023年度は来るべき需要に備えた基盤作りの年と捉え活動
- 新工場建設に向けた取り組みを開始

自動認識事業 見通し

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期(計画)	増減比(%)	増減額
売上高	1,513	1,780	17.6%	266
営業利益	67	110	62.3%	42
営業利益率	4.5%	6.2%	—	1.7pt

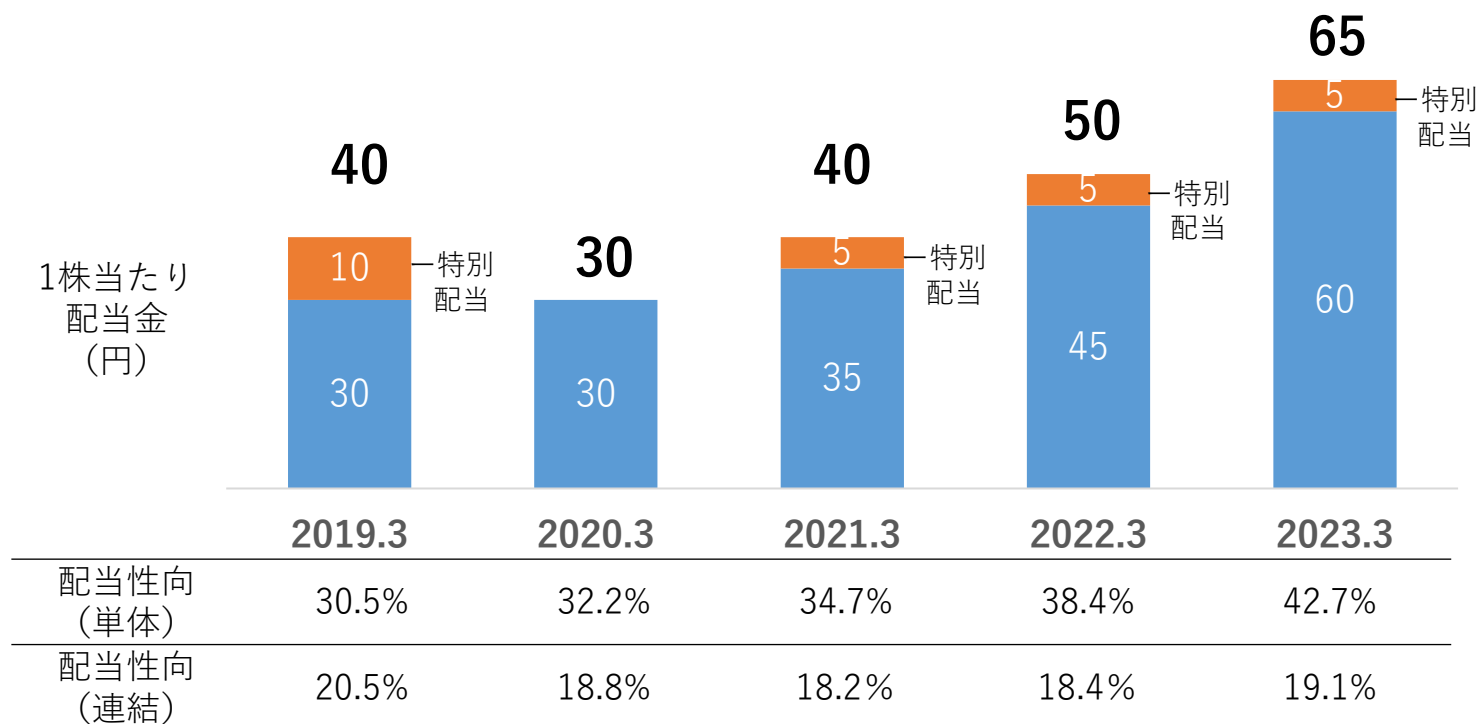


◇自動認識事業 今後の見通し

- ・ 公共分野での開発・量産対応
交通系分野向けセキュアリーダ開発
WW市場向け高機能堅牢タブレットへ搭載
多機能ATM向けセキュアリーダ標準搭載
- ・ 開発案件、新規分野への対応
技術・品証体制の見直しによる、QCDレベルの底上げ
をはかり、更なる顧客信頼と新規用途獲得
- ・ RFID + α の自動認識技術の拡張
顔認証装置、QRコードなどRFIDを基本とした各種
自動認識装置との連動で事業領域を拡大

株主還元

配当



株主優待

— 優待の種類 —

買い物券・プリペイドカード

100株以上	継続保有期間	3年未満：1,000円分	3年以上：1,500円分
500株以上	継続保有期間	3年未満：1,500円分	3年以上：2,000円分
1,000株以上	継続保有期間	3年未満：2,000円分	3年以上：2,500円分

成長戦略

アジア市場 拠点の増設

中国 営業所の設立（広州、北京 他）
上海分析センターの拡張



海外代理店との関係強化



海外現地企業との連携・
協力関係を強化

海外新規販売チャネルの開拓

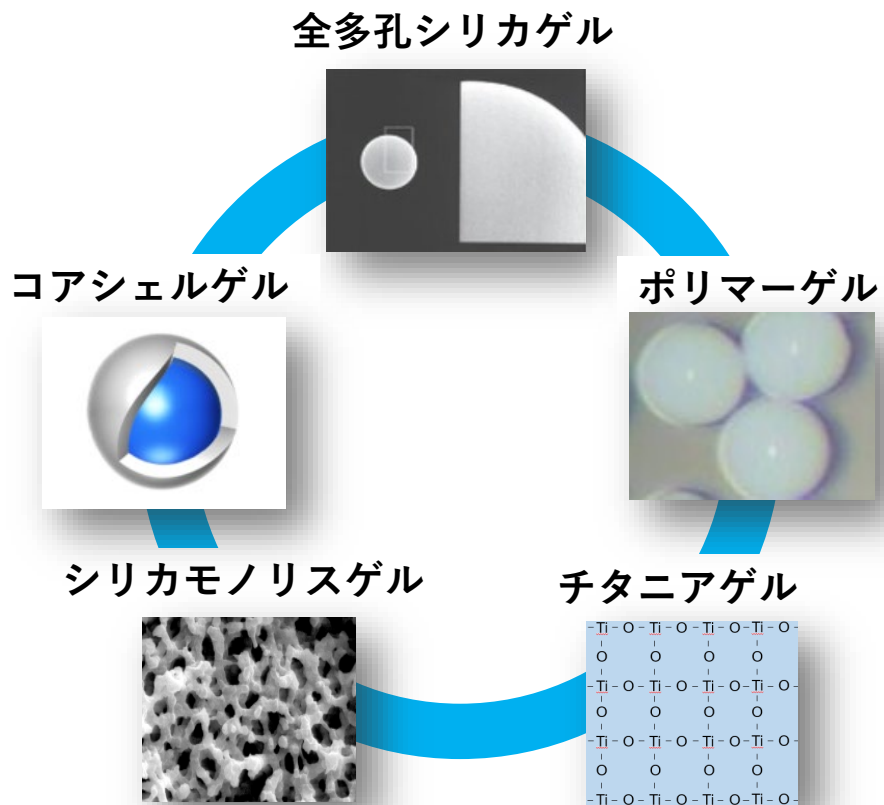


販売機会の拡充
新規販売ルートの開拓
新たな人材の投入及び育成

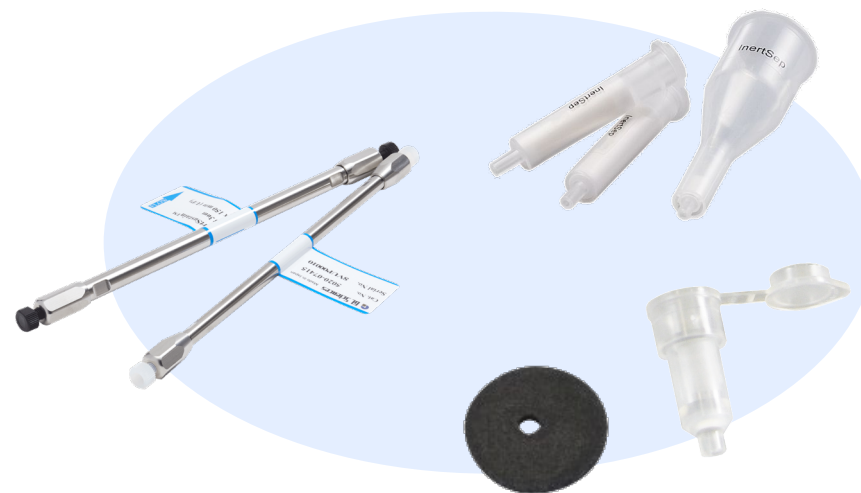
成長戦略

LC充填カラムの販売強化

LC充填カラムの拡販



製品を長期にわたり安定供給



日本国内での一括管理体制



成長戦略

次世代エネルギー・カーボンニュートラル関連

分析分野例

次世代電池開発

ナトリウム二次電池、金属空気電池
有機二次電池 他

燃料電池

水素と酸素の反応により発電

バイオガス

CH₄、CO₂を主体としたガス

合成燃料

H₂、COから液体燃料の生成

特殊システム装置



分析対象成分例

アンモニア

直接燃焼してもCO₂を排出しない
水素のエネルギーキャリア

水素

CO₂を排出しないクリーンエネルギー
合成燃料への利用

二酸化炭素

人工光合成など有機化合物の生成

一酸化炭素

合成燃料への利用

成長戦略

原子力関連

分離精製関連

- ・放射性核種向け特殊分離剤を用いた固相抽出



放射性核種自動化関連

- ・加熱分解抽出装置
- ・自動希釈分注装置



高温分解
分離精製
高感度分析

外部との共同研究

廃炉に伴う廃棄物分析



作業従事者バイオアッセイ



3. 參考資料

3つの事業セグメントと主要サービス

分析機器事業



計測機器分野

成分分析に関する
機器及び消耗品の製造販売

半導体事業



半導体分野

半導体製造装置内で使用する
精密加工品の製造販売

自動認識事業



RFID分野

非接触ICカード関連製品の製造販売

設備投資額 減価償却費 試験研究費

設備投資額

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	343	1,098	220.0%	755
半導体事業	2,425	2,210	△8.9%	△214
自動認識事業	14	3	△76.6%	△11
合計	2,783	3,312	19.0%	529

試験研究費

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	668	715	7.2%	47
半導体事業	36	42	15.2%	5
自動認識事業	78	81	3.7%	2
合計	783	840	7.2%	56

減価償却費

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減比 (%)	増減額
分析機器事業	546	532	△2.7%	△14
半導体事業	608	936	54.0%	328
自動認識事業	2	4	56.5%	1
合計	1,157	1,472	27.2%	315

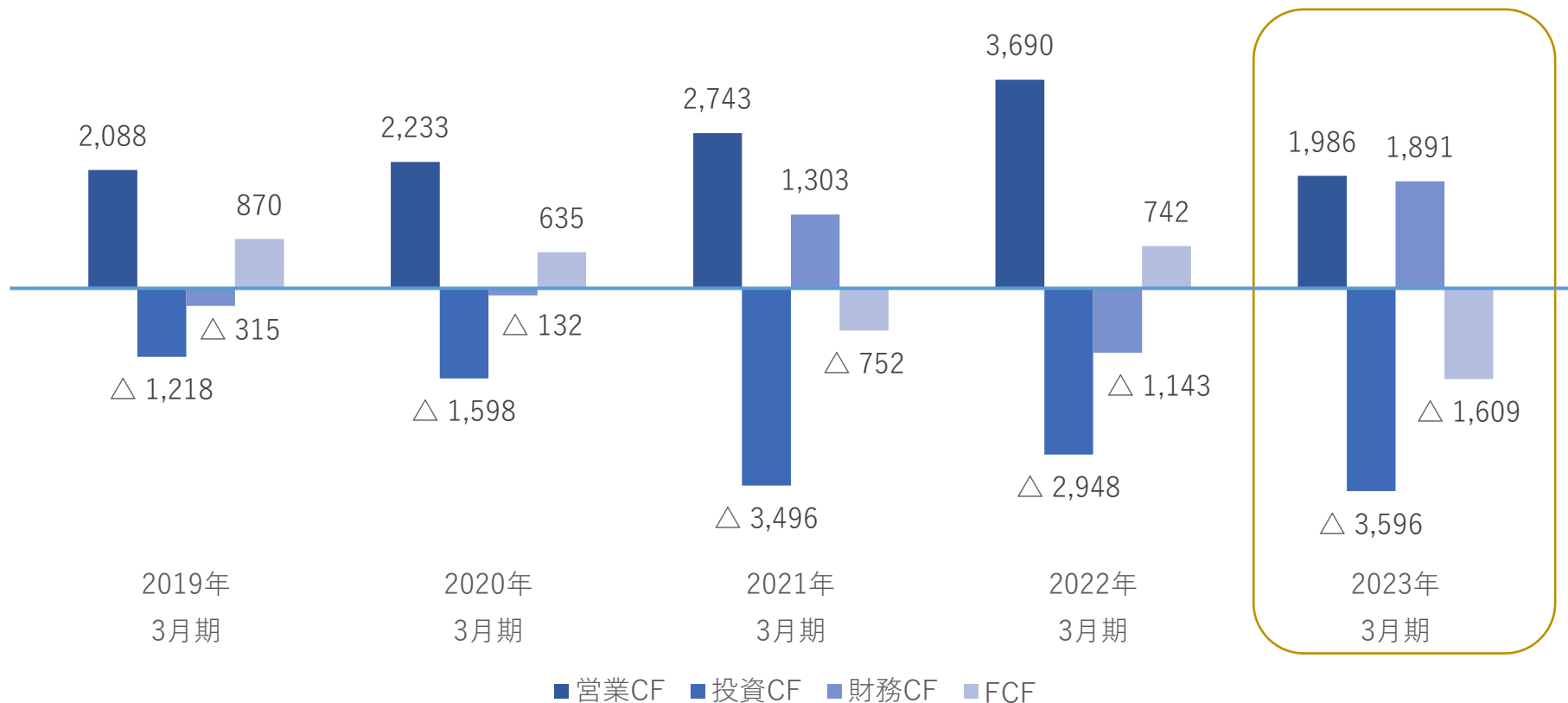
◆ 設備投資額

- ・旧型設備の買換え
- ・土地の新規購入
- ・アイシンテック社における工場建設

キャッシュフロー

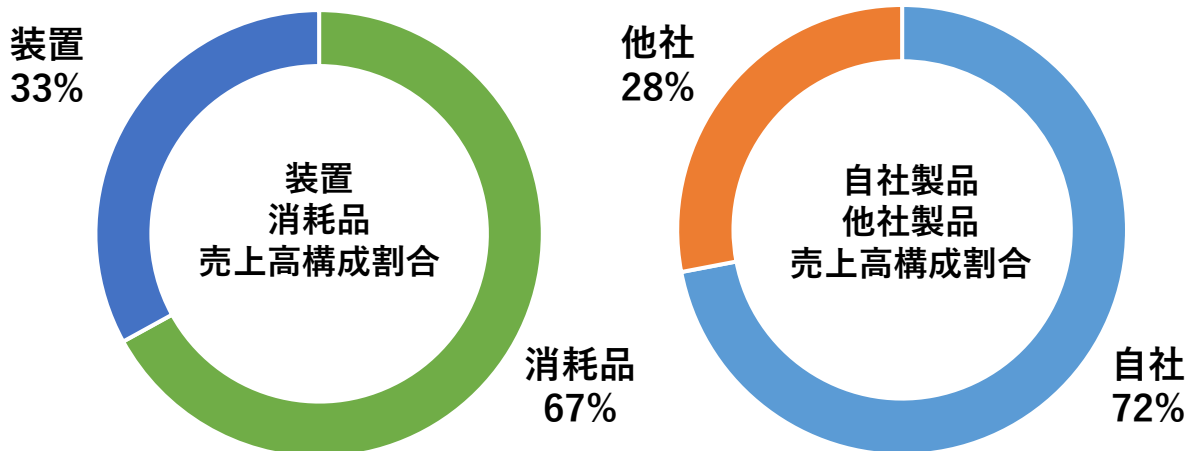
- ◆ 当期純利益の増加等により、営業キャッシュフローは、1,986百万円
- ◆ 有形固定資産の取得等により、投資キャッシュフローは、△3,596百万円
- ◆ 長期借入による収入等により、財務キャッシュフローは、1,891百万円

(単位：百万円)

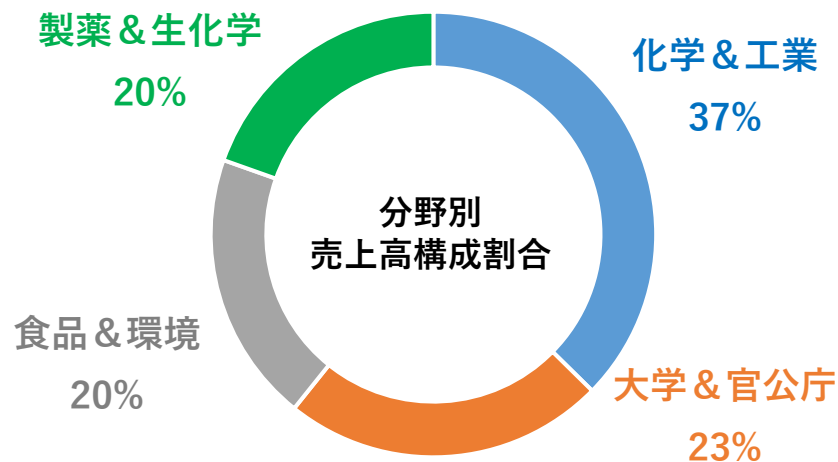


販売形態別比率

分析機器事業 売上高構成割合

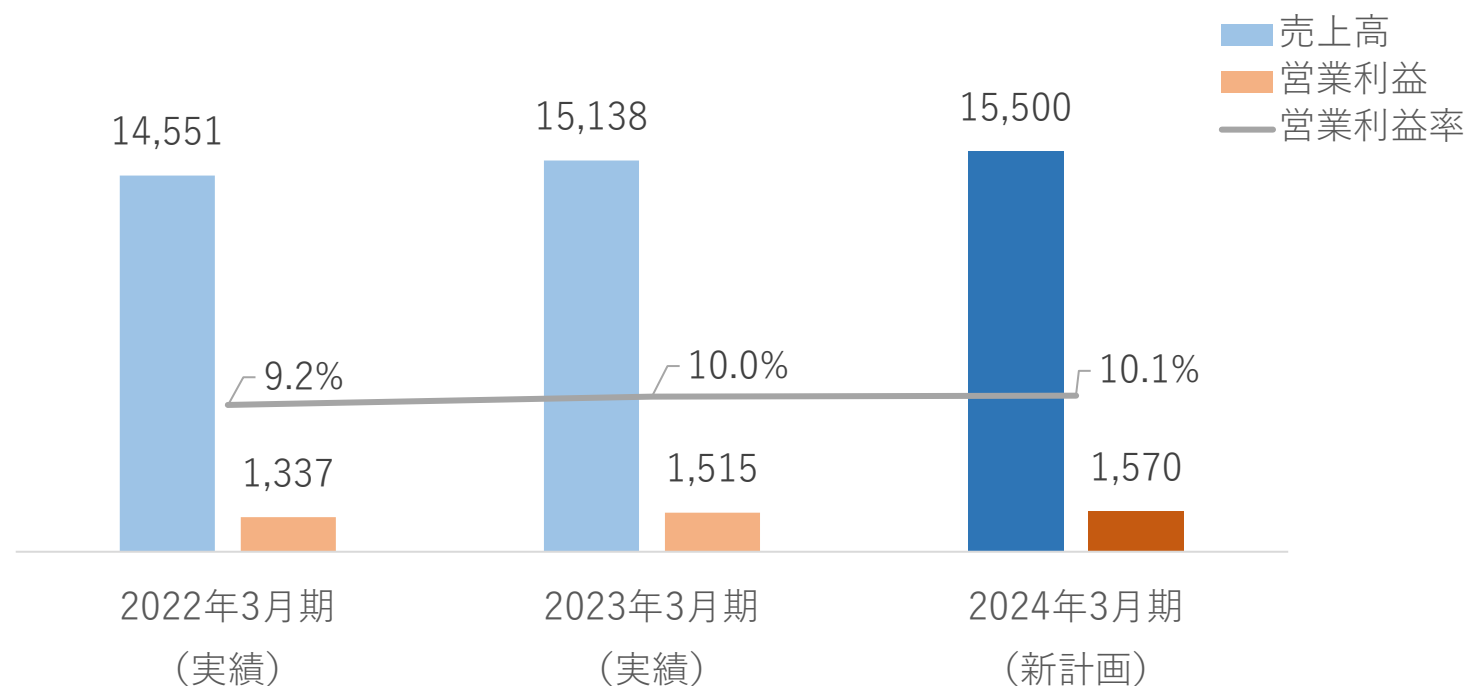


ジーエルサイエンス単体 (国内売上高) 分野別売上高構成割合



個別 経営目標

(単位：百万円)



	2022年3月期 (計画)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (旧計画)	2024年3月期 (新計画)
売上高	14,000	14,551	14,750	15,138	15,600	15,500
営業利益	1,450	1,337	1,400	1,515	1,500	1,570
営業利益率	10.4%	9.2%	9.5%	10.0%	9.6%	10.1%

免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルサイエンス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

ジーエルサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1

TEL : 03-5323-6633

FAX : 03-5323-6636

URL : <https://www.gls.co.jp>

支える、あらゆる分析を。

Separation Sciences for All

 **GL Sciences**